

領域・小問ごとの分析	対策の視点
	<p>せておくことが大切である。</p>
<p>4. ヘチマの成長に適した時期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 正答率が40%と低い。「じゅくしたみがたくさんとれる。」の誤答が多かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実の成長の様子と季節感を関連づけた指導が必要である。特に、夏休み中にかかっている観察に配慮する必要があると思われる。</li> </ul>
<p>5. ヘチマの育ち方</p> <p>(1) ヘチマの実の中の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 正答率が55%と理解が不十分である。「すじが、かたくなっているやたねのまわりにだけついている。」の誤答が見られた。</li> </ul> <p>(2) ヘチマの育ち方の順序</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 正答率17%とよく理解されていない。「早くみになったヘチマ」という(1)の設問をよくとらえていないように思われる。「黒いたねもとれた。」とした誤答が多かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ヘチマの実が熟す過程で、切って観察できるだけの素材を栽培しておく必要がある。そして、時期を決めて、内部の様子を観察させる必要がある。</li> <li>○ 一本のへちまの株と区別して観察できる栽培への配慮もほしいが、アサガオの育ち方で「実やたねのできる順序」などを生かしたヘチマの観察をさせる必要がある。</li> </ul>
<p>6. 季節と生きもののおようす</p> <p>(1) キクの花の咲く季節</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 正答率41%と理解が低い。「モンシロチョウがたまごを産みつける時期」の誤答が見受けられた。</li> </ul> <p>(2) シバザクラの花の咲く季節</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 正答率36%とよく理解されていない。「セミやアブなどのこん虫が活動している」や「ツバメがみられる」の誤答が見られた。</li> </ul> <p>(3) ヒョウタンやカボチャの花が咲く季節</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 正答率37%とよく理解されていない。「アカトンボやモンシロチョウの季節」の誤答が見受けられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 花屋にいつの季節でもキクの花があるなど、季節感を欠いている。学校で栽培したり野外での直接経験によって、季節感を培う必要があるようである。</li> <li>○ 「シバザクラ」の植物名そのものについての認識が薄いようにも考えられるので、環境経営と同時に、一般的な草花について季節感を持たせながら関心を高めさせたい。</li> <li>○ ヘチマの観察と関連づけて指導できる栽培計画が必要である。また、季節感を持たせる指導には、特に配慮して行きたいものである。</li> </ul>